人に未来を。医療に明日を。

MEDIUS

2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上場会社名　メディアスホールディングス株式会社　上場取引所　東
コード番号　3154　URL　https://www.medius.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 芥川　浩之
問合せ先責任者　(役職名) 経営推進本部長　(氏名) 伊奈　佑規　(TEL)　03-6811-2958

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	76,273	5.7	360	127.5	447	66.0	225	107.4
2026年６月期第１四半期	72,168	4.4	158	3.2	269	11.1	108	47.1

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期　374百万円(　－%)　2026年６月期第１四半期　30百万円(△76.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	10.14	10.12
2026年６月期第１四半期	4.88	4.88

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	117,600	20,686	17.6
2026年６月期	112,594	20,746	18.4

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　20,668百万円　2026年６月期　20,737百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	20.00	20.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	7.5	2,000	12.3	2,400	4.1	1,400	48.3	62.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　1社（社名）エムジェイシー株式会社　、除外　　―社（社名）―

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	22,238,217株	2026年６月期	22,238,217株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	998株	2026年６月期	998株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	22,237,219株	2026年６月期１Ｑ	22,237,259株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国の経済は、賃上げによる所得環境や雇用環境の継続的な改善に加えて、ＡＩ・半導体やデジタル関連を中心とした設備投資等により、緩やかな成長を維持しております。一方、物価や人件費の高騰に加えて円安基調の継続や金利の上昇、更には中東情勢による原材料価格の高騰等、依然として医療業界をとりまく環境としては、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、医療技術の進歩等による高齢者人口の増加に加えて、一昨年より実施されている医師の働き方改革や、2026年度診療報酬改定において医療従事者の賃上げ分として一部設定されたものの、設定金額を上回る医療従事者の賃上げ等による医療機関の業績悪化等により、今後も断続的に医療体制の逼迫した状況が懸念されております。そのため、オンライン診療やＡＩの医療への応用といった医療ＤＸの推進等による、効率的な医療供給体制の構築が医療機関に求められております。

このような経営環境のもと、当社グループは、持続可能な医療体制の構築に向けて、製品の安定供給並びに顧客の課題解決に取り組むことを方針として事業活動を行っております。

当第１四半期連結累計期間においては、症例増加及び新規顧客獲得等に伴う販売拡大により消耗品の販売が好調に推移したこと等により、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

販売費及び一般管理費においては、主要子会社における事業規模拡大に伴う人員採用及びベースアップ等による人件費の増加に加えて、物流コストの増加による業務委託費が増加したこと等から、前年同四半期と比較して増加しておりますが、増収効果に伴い営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増加いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は76,273百万円(前年同四半期比5.7%増)、営業利益は360百万円(同127.5%増)、経常利益は447百万円(同66.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円(同107.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

消耗品については、整形外科領域・循環器領域を中心に症例増加及び新規顧客獲得の進展に伴い、売上高が拡大いたしました。備品については、前年同四半期における放射線治療装置等の大型備品案件等の影響により、売上高は前年同四半期と比較して減少となったものの、セグメントの売上高としては拡大いたしました。

また、事業規模拡大等により販売費及び一般管理費は増加しておりますが、増収によりセグメント利益も増加いたしました。

この結果、売上高は74,708百万円(前年同四半期比5.6%増)、売上総利益は8,453百万円(同6.8%増)、セグメント利益(営業利益)は2,227百万円(同4.7%増)となりました。

②介護・福祉事業

売上高については、リフォーム案件及びレンタル新規案件の獲得等により増加いたしました。売上総利益については、売上高の増加に加えて、レンタル事業における自社製品比率の上昇等により増加いたしました。

また、シーツ等消耗品の購入等により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加により増益となりました。

この結果、売上高は1,564百万円(前年同四半期比10.5%増)、売上総利益は636百万円(同8.9%増)、セグメント利益(営業利益)は148百万円(同27.7%増)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業…… 国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

（２）財政状態に関する説明

①資産

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から5,005百万円増加し、117,600百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から4,657百万円増加し、94,753百万円となりました。これは主に現金及び預金が854百万円、受取手形及び売掛金が1,545百万円、電子記録債権が196百万円、商品及び製品が1,916百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から348百万円増加し、22,847百万円となりました。これは有形固定資産が30百万円、無形固定資産が45百万円それぞれ減少した一方で、投資その他の資産が424百万円増加したことによるものであります。

②負債

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から5,066百万円増加し、96,914百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から5,230百万円増加し、86,953百万円となりました。これは主に電子記録債務が904百万円、その他の流動負債が876百万円それぞれ減少した一方で、支払手形および買掛金が614百万円、短期借入金が5,765百万円、賞与引当金が849百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から163百万円減少し、9,961百万円となりました。これは主に資産除去債務が50百万円、その他の固定負債が63百万円それぞれ増加した一方で、長期借入金が222百万円、長期前受収益が43百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から60百万円減少し、20,686百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が153百万円増加した一方で、利益剰余金が217百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想につきましては、2026年８月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,051,053	10,905,727
受取手形及び売掛金	58,565,803	60,111,563
電子記録債権	3,452,321	3,648,531
商品及び製品	14,318,178	16,234,847
原材料及び貯蔵品	14,970	15,027
その他	3,842,694	3,985,398
貸倒引当金	△149,097	△147,879
流動資産合計	90,095,923	94,753,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,840,576	6,826,096
機械装置及び運搬具（純額）	509,092	483,373
土地	3,982,880	4,007,600
その他（純額）	1,440,186	1,425,410
有形固定資産合計	12,772,735	12,742,480
無形固定資産		
のれん	655,025	606,614
その他	1,032,942	1,035,944
無形固定資産合計	1,687,968	1,642,558
投資その他の資産		
その他	8,083,165	8,507,239
貸倒引当金	△45,257	△45,159
投資その他の資産合計	8,037,907	8,462,080
固定資産合計	22,498,611	22,847,119
資産合計	112,594,534	117,600,335

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,484,022	45,098,541
電子記録債務	17,727,043	16,822,300
短期借入金	14,806,736	20,572,621
未払法人税等	555,089	428,904
賞与引当金	66,685	915,986
役員賞与引当金	137,749	13,377
株式報酬引当金	－	32,562
その他	3,945,447	3,068,738
流動負債合計	81,722,773	86,953,032
固定負債		
長期借入金	3,584,736	3,362,330
役員退職慰労引当金	20,300	20,300
株式報酬引当金	29,237	－
債務保証損失引当金	136,808	146,091
退職給付に係る負債	1,593,116	1,601,606
資産除去債務	175,589	226,004
長期前受収益	2,935,819	2,892,078
その他	1,649,409	1,712,888
固定負債合計	10,125,015	9,961,299
負債合計	91,847,789	96,914,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,380,877	1,380,877
資本剰余金	2,879,703	2,876,969
利益剰余金	14,705,392	14,488,374
自己株式	△483	△483
株主資本合計	18,965,489	18,745,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,659,556	1,812,563
退職給付に係る調整累計額	112,333	109,743
その他の包括利益累計額合計	1,771,889	1,922,306
非支配株主持分	9,366	17,958
純資産合計	20,746,745	20,686,003
負債純資産合計	112,594,534	117,600,335

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	72,168,450	76,273,146
売上原価	63,676,872	67,187,734
売上総利益	8,491,577	9,085,412
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	19,204	△1,966
株式報酬引当金繰入額	24	4,298
給料及び手当	3,369,900	3,563,475
従業員賞与	2,022	△22,146
賞与引当金繰入額	817,409	850,417
役員賞与引当金繰入額	10,796	1,687
退職給付費用	153,933	152,726
法定福利費	654,113	689,089
減価償却費	271,511	267,274
賃借料	625,671	659,571
業務委託費	674,854	746,296
その他	1,733,483	1,813,762
販売費及び一般管理費合計	8,332,926	8,724,488
営業利益	158,651	360,924
営業外収益		
受取利息	5,016	6,789
受取配当金	3,571	3,981
仕入割引	83,838	83,923
補助金収入	44,552	44,552
その他	45,594	47,526
営業外収益合計	182,573	186,774
営業外費用		
支払利息	50,005	79,733
貸倒引当金繰入額	－	650
債務保証損失引当金繰入額	9,018	9,283
その他	12,806	10,801
営業外費用合計	71,830	100,468
経常利益	269,394	447,229
特別利益		
固定資産売却益	1,046	989
投資有価証券売却益	66	－
特別利益合計	1,113	989
特別損失		
固定資産除却損	251	4,569
減損損失	3,801	7,651
特別損失合計	4,052	12,221
税金等調整前四半期純利益	266,454	435,998
法人税、住民税及び事業税	368,031	420,381
法人税等調整額	△210,294	△208,792
法人税等合計	157,736	211,589
四半期純利益	108,717	224,409
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△18	△1,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,735	225,542

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	108,717	224,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,429	153,007
退職給付に係る調整額	747	△2,590
その他の包括利益合計	△78,682	150,417
四半期包括利益	30,035	374,826
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,053	375,959
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	△1,132

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

前連結会計年度において非連結子会社であったエムジェイシー㈱は、重要性が増したため、当第１四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	医療機器販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,753,408	1,415,041	72,168,450	－	72,168,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,057	－	4,057	△4,057	－
計	70,757,466	1,415,041	72,172,507	△4,057	72,168,450
セグメント利益	2,126,065	116,354	2,242,419	△2,083,768	158,651

（注）１．セグメント利益の調整額△2,083,768千円には、セグメント間取引消去5,019千円、のれん償却額△74,844千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,013,942千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「医療機器販売事業」及び「介護・福祉事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第１四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、「医療機器販売事業」が3,645千円、「介護・福祉事業」が156千円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	医療機器販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,708,991	1,564,155	76,273,146	－	76,273,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,421	－	4,421	△4,421	－
計	74,713,412	1,564,155	76,277,568	△4,421	76,273,146
セグメント利益	2,227,006	148,620	2,375,627	△2,014,702	360,924

（注）１．セグメント利益の調整額△2,014,702千円には、セグメント間取引消去7,634千円、のれん償却額△48,411千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,973,926千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「医療機器販売事業」及び「介護・福祉事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第１四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、「医療機器販売事業」が4,417千円、「介護・福祉事業」が3,234千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	452,301千円	453,123千円
のれんの償却額	74,844千円	48,411千円